

HOSOYAMA

電気貯蔵湯沸器

ハイエレクトラムシリーズ

沸き上がり君

取扱い説明書・仕様

DEN-12	HDEN-12 ,W,S
DEN-20	HDEN-20,W,S
DEN-30	HDEN-30,W,S
DEN-45	HDEN-45,W,S
	HDEN-65,W,S

ごあいさつ

このたびは、電気貯蔵湯沸器をお求めいただきましてありがとうございました。

この「取扱い説明書」を大切に保存して下さい。

目次

[1] 本器の特長	1
[2] 各操作部の名称と働き	2
[3] 使用手順	3
[4] 完全マスター	7
[5] 使用時の注意	11
[6] 器具の設置	11
[7] 特に注意していただきたいこと	13
[8] 取扱い注意	13
[9] 故障表示とその処置方法	13
[10] 日常の手入れ	15
[11] 長期間使用しない場合	15
[12] アフターサービスのお申し込み	15
[13] 仕様一覧表	16
[14] 各部名称及び構造	17
[15] 結線図	18

[1] 本器の特長

■即運転可能なおまかせタイマー

即ご使用いただけるように、あらかじめプログラムが組込まれていますので、時計を合せて、**運転** を押すだけでOKです。

■人工知能をもったスーパーマイコン

お湯のほしい時間にセットすると、水温から設定温度までの沸上げ時間をマイコンが自動的にコントロールして沸上げます。(省エネタイプ)

■マイコンが安全をみはります。

必要水量に満たない場合には、ヒーターに通電しません。空焚防止電極と過昇防止温度ヒューズによる二重安全装置でマイコンが完全に空焚を防ぎます。その他、通常温調運転、沸騰運転の時などにも二重安全機構を採用しています。

■沸騰したおいしいお湯がいつでも

一度沸点まで沸かし、沸騰済ランプが点灯しカルキが抜けたおいしいお湯を保ちます。無駄な沸騰を省いた省エネ機構付です。

■強制運転機能

プログラム運転中でタイマーの「入」「切」にかかわらず、2時間の希望温度の強制運転ができます。

■便利な沸騰機能付

一度沸騰まで沸上げます。

■14日間の停電補償機能付

万一の停電の場合でもタイマーは動きます。

■休日停止機能

夏休み、祝祭日、臨時休業等で湯沸器を停止させたいときに使用できる便利な機能で、設定した曜日より最大99日間連続して停止することが可能です。

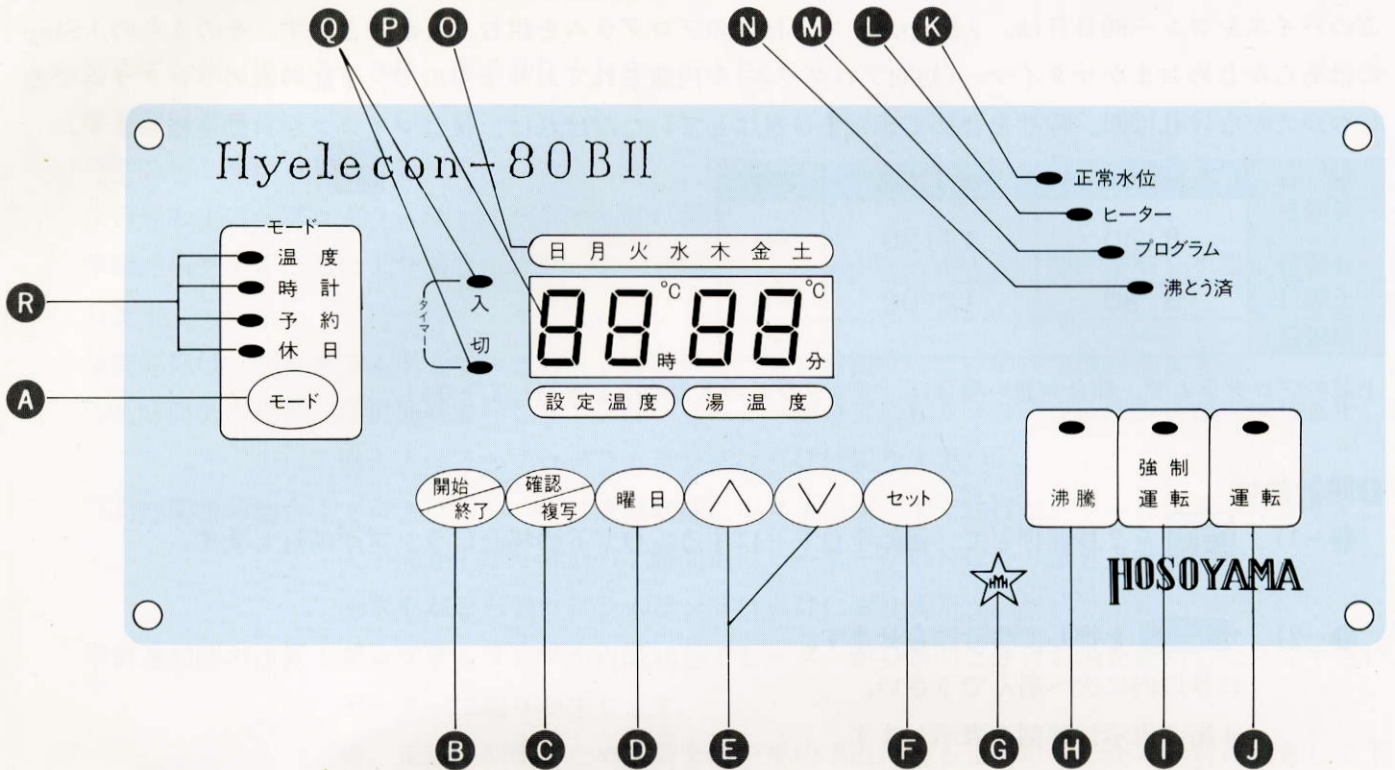
■寒冷地区で便利な凍結防止機構付

湯槽の温度が10℃以下になると自動的にヒーターがONになり、凍結しない温度に保ちます。

■オプション——自動給排水機能付

24時間以上の停止時間のある場合は、次回の沸上げ開止までに排水をすませ給水をして新鮮な水と自動的に交換します。

[2] 各操作部の名称と働き



1 操作各部の働き

- A** ● モード モード切替時に使います。
- B** ● 開始/終了 時刻合せや、プログラムの変更の開始と変更終了の時に使います。
- C** ● 確認/複写 プログラムの確認とプログラムの複写する時に使います。
- D** ● 曜日 曜日を移動する時に使います。
- E** ● ▲ ▼ 温度設定、時刻の変更の時に使います。
- F** ● セット 時刻合せや、プログラムの変更のセット時に使います。
- G** ● ☆ 特定曜日のプログラム消去の時、おまかせタイマー(初期プログラム)にもどす時に使います。
- H** ● 沸騰 設定温度に関係なく一度沸騰させたい時に使います。
- I** ● 強制運転 運転ボタンと併用して使います。2時間運転します。
- J** ● 運転 運転、停止に使います。
- K** ● ● 正常水位 水位が正常範囲にある時に点灯します。
- L** ● ● ヒーター ヒーターに通電されている時に点灯します。
- M** ● ● プログラム プログラムモードの時に点灯します。
- N** ● ● 沸とう済 沸騰が完了した時に点灯し、湯温が90℃以下に下がると消灯します。
- O** ● ● 日月火水木金土 現在の曜日を示したり、プログラムの予約、確認の時に点灯します。
- P** ● ● 88.88 時刻モード時は時刻、温度モード時は温度を表示します。異常時にはエラー表示がされます。
- Q** ● ● 入切 プログラムの入時刻中に、入ランプが点灯し、切時刻中は切ランプが点灯します。
- R** ● ● 温度
● ● 時計
● ● 予約
● ● 休日 ①の4桁の数字の状態を表します。

[3] 使用手順

このハイエレコン-80B IIは、2 Step/日×7日分のプログラムを組むことができます。そのうちの1 Stepにはあらかじめおまかせタイマー(初期プログラム)が内蔵されておりますので、下記の表のプログラムで差しかえがなければ即、時計を合せて運転をONにしていいただければ、後はマイコンが自動運転します。

曜日	沸上がり時刻	切り時刻	温度
月曜日 ↓ 金曜日	8:30	17:30	FU
土曜日	8:30	12:00	FU
日曜日	—	—	95

上記のプログラムで、都合が悪い場合は、プログラムの入力 of 項を参照して下さい。

① 時計合せ


- ①-1) **運転** を2秒間押して、運転をOFFにする。OFFの場合はランプが消灯します。
- ①-2) **モード** を押して時計に合せます。
15秒以内に次へ進んで下さい。
4桁の表示は時刻を表示します。
- ①-3) **開始/終了** を押す。
時計ランプと曜日ランプが点滅し4桁の数字も点滅します。
- ①-4) **曜日** を押して現在曜日に合せます。
曜日ランプが点滅しながら移動します。
- ①-5) **▲ ▼** を押して現在時刻に合せます。
押し続けると早送りになります。
24時間表示なので注意して下さい。
- ①-6) 時刻が合いましたら、**セット** を押して下さい。
(もとの温度表示にもどります)

これで、時計合せはおわりです。

② 時計確認



- ②-1) **モード** を押して時計に合せて下さい。
現在時刻が表示されます。15秒後に温度表示に戻ります。

③おまかせタイマー(初期プログラム)運転の場合

③-1)  を押してONにして下さい。

◎初めてお使いになるときは、次の動作を行なって下さい。

学習運転方法

 を押しながら  を押す。

学習運転中は、プログラムランプが点滅しています。

学習運転をすることにより沸き上げデータを保存して次回からの沸き上げ開始時刻を水温より割り出します。

学習運転は、プログラムタイマーの「入」時間帯と「切」時間帯とでは動作が異なります。

「入」時間帯の場合：学習運転を行なうと同時にヒーターがONになりプログラムランプは点滅します。

沸き上がるとプログラムランプは点灯に変わります。

「切」時間帯の場合：プログラムランプは点滅状態になりますが、すぐにはヒーターに通電されません。


次の沸き上がり時刻の2時間前にヒーターがONになり沸き上げます。



沸き上がるとプログラムランプは点灯に変わります。

学習運転時の注意：プログラムランプが点滅状態でヒーターがONのときはお湯を使用しないで下さい。


データに誤りが生じます。

尚、正確を期するため湯槽全体を平均水温になるようにしてから学習運転をして下さい。

一度、学習運転を終了しますと新ためて学習運転を行なうまではデータは保持されますので、以後は（何らかの理由で電源を切ったりしない限り停電保証内であればデータは消えません） のON、OFFだけで御使用下さい。

再度  を押しながら  を押すとプログラムランプは点滅し、前の学習データは消え、新ためて学習運転に入ります。

学習運転を行なわなかった場合

ただ単に  を押して、使用開始した場合は、設定されている沸き上がり時刻の2時間前にヒーターがONになり沸き上げます。

④おまかせタイマー(初期プログラム)を変更してご使用になる場合

ここでは、おまかせタイマー(初期プログラム)を変更してご使用になる場合を例にそって説明します。もっと詳しく知りたい方は、プログラム入力(完全マスター)の項を参照して下さい。

おまかせタイマーは月曜日～金曜日 沸き上がり時刻 8時30分 切時刻 17時30分 温度FU

土曜日 沸き上がり時刻 8時30分 切時刻 12時00分 温度FU

でセットされています。(FUは沸騰を表します。)

◎例1 月曜日～土曜日 沸き上がり時刻 9時00分 切時刻17時00分 温度95℃に変更します。

- ① **運転** を2秒間押してOFFにする。
- ② **モード** を押して予約に合せる。
- ③ **開始/終了** を押す。
「入」ランプと月曜ランプが点灯し、4桁の表示が8:30で点滅。
- ④ **△** 又は **▽** を押して沸き上がり時刻を9:00に合せる。
- ⑤ **セット** を押す。
「切」ランプと4桁の表示が17:30で点滅。
- ⑥ **▽** 又は **△** を押して切時刻を17:00に合せる。
- ⑦ **セット** を押す。
温度ランプと左2桁がFUで点滅。
- ⑧ **▽** 又は **△** を押して左2桁の温度を95に合せる。
注：早送りした場合、一旦95で止まりますので、再度押すとFUになります。
- ⑨ **セット** を押す。
- ⑩ **確認/複写** を押す。(複写機能になります。)
月曜日がおそい点滅をして火曜日が早い点滅をする。
遅く点滅している曜日のプログラム内容を早く点滅している曜日に複写します。
複写する曜日を飛ばす場合は**曜日**を押して早い点滅をしている曜日をずらして下さい。
飛ばした曜日はおまかせタイマーが残っています。
- ⑪ **セット** を押して火曜日に複写する。火曜日が点灯する。水曜日が早い点滅。
- ⑫ **セット** を押して水曜日に複写する。水曜日が点灯する。木曜日が早い点滅。
- ⑬ **セット** を押して木曜日に複写する。木曜日が点灯する。金曜日が早い点滅。
- ⑭ **セット** を押して金曜日に複写する。金曜日が点灯する。土曜日が早い点滅。
- ⑮ **セット** を押して土曜日に複写する。土曜日が点灯する。日曜日が早い点滅。
- ⑯ **開始/終了** を押して終了する。
- ⑰ **曜日** を押し、各曜日に合せ**確認/複写** を押して変更したプログラム内容になっているか確認する。
- ⑱ **運転** を押してONにする。

◎特定曜日のプログラム消去を使ってみましょう。

例2 土曜日とも休業日なので土曜日を消去します。特定曜日のプログラム消去を使用します。
消去した曜日には何も残りません。おまかせタイマーも消えます。

- 1 **運転** を2秒間押してOFFにする。
- 2 **モード** を押して予約に合わせる。
- 3 **開始/終了** を押す。
- 4 **曜日** を押して土曜日に合わせる。
- 5 ☆ を押しながら **確認/複写** を押す。
4桁の表示が ---- の点滅になる。
- 6 **セット** を押す。
2秒後もとの温度表示にもどる。
- 7 **曜日** を押し、消去した曜日に合わせる。
- 8 **確認/複写** を押し、---- 表示になるのを確認する。
- 9 **運転** を押しONにする。

◎休日停止機能を使ってみましょう。

祝・祭日、夏休み、臨時休業等でご使用にならない時は、休日停止機能によって設定した曜日より連続で停止をすることができます。尚、設定できる曜日は当日を含む1週間先までです。

例3 木曜日が祭日で、木曜日1日を停止する場合、本日が月曜日とします。

- 1 **運転** を2秒間押してOFFにする。
- 2 **モード** を押して休日に合わせる。
- 3 **開始/終了** を押す。
月曜日と00が点滅する。
- 4 **曜日** を押して木曜日に合わせる。
- 5 **△** **▽** を押して01に合わせる。
- 6 **セット** を押す。
もとの温度表示にもどる。
- 7 **モード** を押して休日に合わせる。
木曜日ランプが点灯し、01になっていることを確認する。
- 8 **運転** を押しONにする。

[4] 完全マスター

① プログラムの入力

このマイコンは、初期プログラムを含め2STEP/日×7日で14プログラムを組むことができます。さらに、初期プログラムは変更も可能です。(1日の時刻設定範囲は00:00~23:59です)※の数字は、初期プログラムの数字を表す。

- ①-1) **運転** を2秒間押しして運転をOFFにして下さい。

OFFになっている場合は次へ進んで下さい。

- ①-2) **モード** を押しして予約に合せる。

15秒以内に次へ進んで下さい。

- ①-3) **開始/終了** を押しします。

予約ランプと月曜日が点滅し、4桁の表示は、※8:30の点滅表示となります。

※8:30の表示は、あらかじめ入力されている初期プログラムの沸き上がり時刻であり、違うプログラムが入力されている場合は、そのプログラムの沸き上がり時刻を表示する。何もプログラムされていない場合は ---- の表示になる。

- ①-4) **曜日** を押しして希望曜日に合せて下さい。

- ①-5) **▲ ▼** を押しして1STEPの沸き上がり時刻を合せて下さい。

- ①-6) 時刻が合いましたら、**セット** を押しして下さい。

切ランプが点灯し、4桁の表示は、切時刻※17:30をフリッカー表示する。

- ①-7) **▲ ▼** を押しして1STEPの切時刻を合せて下さい。

- ①-8) 切時刻が合いましたら **セット** を押しして下さい。

温度ランプが点灯し、左2桁の表示がFUのフリッカー表示になります。

- ①-9) **▲ ▼** で希望の温度に合せて下さい。

温度を上昇させる場合一旦95で止まりもう一度押しすとFUになります。

(設定範囲は、30~95°C、95°C以上はFU(沸騰)表示)

- ①-10) 温度を合せましたら **セット** を押しして下さい。

入ランプと時計ランプが点灯し、4桁の表示は、※ ---- のフリッカー表示になる。

これで1STEPの入力が終わりました。

1STEPで終了する場合は、**開始/終了** を押しして終了です。

2 STEPにすすむ場合は次に進んで下さい。

①-11) **▲ ▼** を押して 2 STEPの沸き上がり時刻を合せて下さい。

①-12) 時刻が合いましたら、**セット** を押して下さい。

切ランプが点灯し、4桁の表示は ---- でフリッカー表示する。

①-13) **▲ ▼** を押して 2 STEPの切時刻を合せて下さい。

①-14) 時刻が合いましたら、**セット** を押して下さい。

温度ランプが点灯し、左2桁の95がフリッカーし、右2桁は水温を表示する。

①-15) **▲ ▼** を押して 2 STEPの温度を合せて下さい。

①-16) 合いましたら **セット** を押して下さい。

入ランプが点灯し、4桁の表示がFULLになりもうこれ以上入らないことを表示します。

これで1日の入力は終了です。

また、続けて次の日、または他の曜日を入力する時は、①-4)へ戻ってくり返し行って下さい。他の曜日も同じ場合は、複写の項を参照して下さい。

①-17) **開始/終了** を押して終了です。

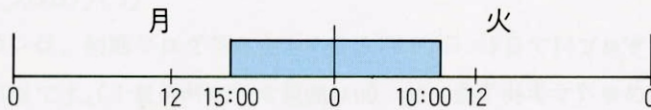
(温度ランプが点灯し、元の表示に戻る)

これで1日の入力が終わりました。

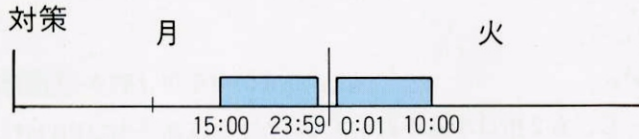
運転 を押してONにして下さい。

② プログラム入力 の 注意事項

1) 日渡動作はできません。



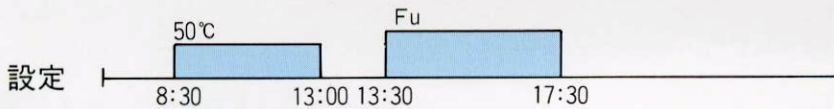
• 動作しません。



		沸上がり時刻	切時刻	温度
月	1 STEP	15:00	23:59	FU
火	1 STEP	00:01	10:00	FU

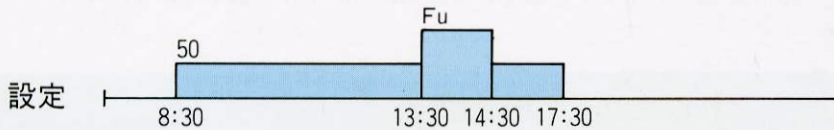
2) 1 STEPと2 STEPの動作が重なった時

例1. 1 STEP 08:30 13:00 50
 2 STEP 13:30 17:30 FU



2 STEPの沸き上がり時刻が13:30のため、50°Cから沸騰までの沸き上げに要する時間によって、13:00以前にヒーターがONになる場合があります。

例2. 1 STEP 08:30 17:30 50
 2 STEP 13:30 14:30 FU



13:30が沸き上がり時刻のため、13:30以前にヒーターがONになり沸騰まで沸き上げます。

尚、学習運転を行なった場合について説明しましたが、学習運転を行なわない場合は、沸き上がり時刻の2時間前よりヒーターがONになりますので注意して下さい。

③ 複写

他の曜日も同じ場合は、**曜日** と **セット** で他の曜日に複写します。

③-1) ①-10) 又は ①-16) の後に、**確認/複写** を押します。

入力した曜日(変更した)ランプが遅い点滅をしていてその次の曜日ランプが早い点滅をします。その他の曜日ランプは消えています。

早い点滅をしている曜日に遅く点滅をしている曜日の内容を複写します。

③-2) 選択は **セット** を押して下さい。

早いフリッカーをしている曜日を選択する場合は、セットを押して下さい。選択した曜日が点灯し、次の日が早いフリッカーをします。

③-3) 曜日を飛ばす場合は、**曜日** を押します。

早いフリッカーをしている曜日を選択しないで飛ばす場合は、曜日を押して下さい。

早いフリッカーをしている曜日が次の曜日に移動します。

③-4) ③-2)、③-3)の操作をしながら1週間が終了したら **開始/終了** を押します。これで終了です。

温度ランプが点灯し温度表示にもどる。

④ プログラムの確認

④-1) **曜日** を押して確認したい曜日に合せます。(15秒以内に次の動作を行なって下さい)

④-2) **確認/複写** を押します。

沸き上がり時刻→切時刻→温度→2 STEP沸き上がり時刻→切時刻→温度の表示後、元の表示にもどります。

⑤ 入力操作でわからなくなったとき

プログラムの入力でわからなくなったときや、もとのおまかせタイマー(初期プログラム)にもどりたときは、次の操作を行うことでおまかせタイマー(初期プログラム)にもどります。

⑤-1) **運転** 2秒間押してOFFにして下さい。

⑤-2)  を押します。

4桁の表示が0000の点滅表示になる。

15秒以内に次の動作に移って下さい。

⑤-3) **セット** を押します。

4桁の表示が0000の点灯になり2秒間表示された後、温度表示に戻ります。

[5] 使用時の注意

(1) 安全装置が作動したときの処置方法

ご使用中何等かの原因により安全装置が働いたときはヒーターへの通電は遮断されアラームがなりエラー表示されます。

「故障表示とその処置方法」により処置して下さい。

アラーム解除の方法は運転スイッチを2秒間押ししてOFFにしてください。アラームは止まりますが表示は残ります。原因を取除いた後運転スイッチをONにしてください。

(2) 使用時の一般的な注意事項

排水を行なうときは湯沸し器の温度が下がってから行って下さい。熱湯が出て火傷の原因になりますし、流し台シンク保護の面からも温度を下げてから行って下さい。

落雷の恐れのあるときは、ご使用を中止し電源プラグをコンセントより抜いて下さい。〔ご注意〕雷に対して安全装置は取り付けてありますが、至近距離に落雷しますと安全装置の能力を越え、器具を破損することがあります。

[6] 器具の設置

■ 設置について

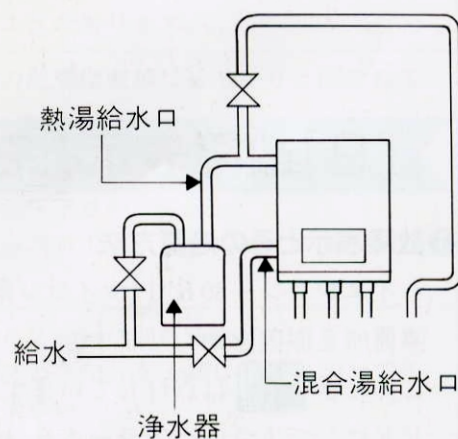
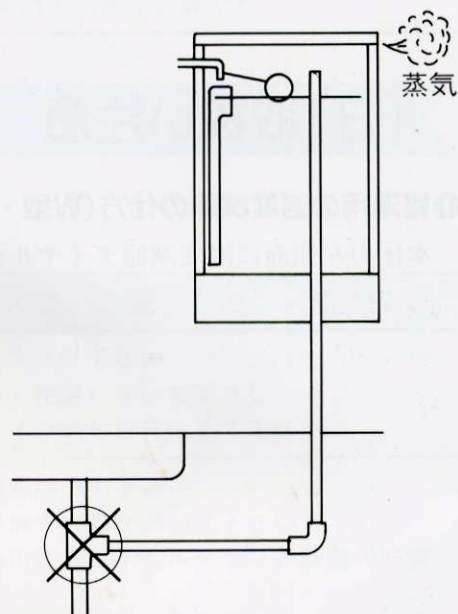
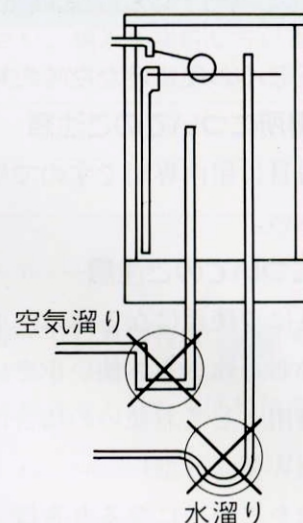
- 1 取付工事は専門の業者にご依頼下さい。
- 2 使用電源についてのご注意
電源に接続する前に銘板に表示されている電圧・相を確認して下さい。
- 3 漏電ブレーカーを設けて下さい。
- 4 直接水がかかったり、高温・多湿の場所への設置はさけて下さい。(故障の原因となります)
- 5 点検及び、修理等のため取外すことがあります。メンテナンススペース(上部200㎜以上)をとって下さい。
- 6 給水管には、必ず止水栓を取付けて下さい。
- 7 給水、給湯の接続は必ず付属の給水、給湯金具を使用して下さい。
- 8 通電は、止水栓を開き満水を確認してから行って下さい。
- 9 アースは、必ず取付けて下さい。
- 10 壁掛型設置の場合は、壁の強度をよく確認して下さい。
- 11 置台型の設置は、不安定な場所を避けて下さい。
- 12 電氣的ノイズが多く発生する環境下でご使用になりますと、プログラムされた内容に狂いを生じる場合があります。

型 式	HDEN-12
貯 湯 量	12ℓ
▽ 81-16076	
相	単相
定 格 電 圧	200V
定 格 消 費 電 力	1.5kw
製 造 年 月	年 月

細山熱器株式会社

■配管上の注意

- 1 壁掛型の場合、出湯圧力は湯沸器の水位と湯栓との落差だけしかありません。このため、出湯圧力が弱いためなるべく配管抵抗を少なくして下さい。(熱湯のみ)[配管の距離が長い場合は、落差(水圧)より抵抗が多いため湯が出なくなることがあります]
- 2 給湯配管は、湯沸器の給湯口より下り配管にして下さい。尚、配管を一度下げた後さらに立上がり配管しますと配管の上部にエアが溜まり湯が出ないことがあります。
- 3 給水配管、給湯配管は必ず壁等に固定して下さい。
(バイブレーションを起こします。)
- 4 給水管接続の前に配管の掃除を行ってから給水金具に接続して下さい。
- 5 オーバーフローの配管は衛生上、メンテナンス上から排水への直結は避けて下さい。また、蒸気が出ますので配管は、熱につよい匂いが出ない材質を使用して下さい。(匂いが逆流しお湯がまずくなることもあります) また、絶対に下り勾配に配管して下さい。(正常に作動しなくなります)
- 6 湯栓は、必ず給湯用(吊りゴマ式熱湯用)をご使用下さい。水用を使用しますと、熱湯のため止らなくなることがあります。
- 7 W型、S型の混合湯(ぬるま湯)は混合水栓が使用できますが、その他の機種は使用できません。
- 8 W型、S型の雑湯給湯口はカラン1個分の出湯量に調整してありますので、複数個のカランを設けますと同時には使用できません。
- 9 W型・S型の雑湯用カランまでの配管は5曲3mまでにして下さい。
- 10 浄水器を接続するときは、給水量に十分見合う先止め式の器具を取り付けて下さい。尚、W型に取り付ける場合、ろ過流量が足りないおそれがありますので、熱湯給水口に接続し、混合湯給水口には浄水器を通さないで接続して下さい。また、長期間湯沸器を使用しない場合は、湯沸器の中の水を抜いて置き、使用開始する時には浄水器の中に溜まっている水が臭う事がありますので、数分間ほど湯沸器を通さずに水を流して捨てて下さい。浄水器のフィルターは目詰まりをしますと湯沸器への給水が出来なくなりますので、定期的に交換して下さい。



W型に浄水器を接続する場合の参考図

[7] 特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読み下さい。

(1) 使用場所についてのご注意

この器具は屋内専用ですので屋外には設置しないで下さい。設置にあたっては「器具の設置」の項をお読み下さい。

(2) 用途についてのご注意

- 器具にご使用になる水は、必ず水道水をお使い下さい。万一ほかの水をご使用になる場合でも、水道水に準じた軟水をお使い下さい。
- 飲料用としてお使いの場合は、熱湯をご利用下さい。また食器等の洗い等は、混合湯給湯口をご利用下さい。(W型、S型)
- 純水をご使用になるときは、空焚きセンサーが働かず運転ができませんので予めお知らせ下さい。

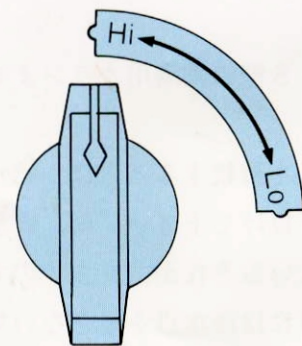
(3) 火傷のご注意

- 熱湯をご使用になる時は、沸騰したお湯が出ますので十分に注意して下さい。
- 器具の使用し中及び使用直後は、オーバーフロー管が熱くなりますので手を触れないようにして下さい。

[8] 取扱い注意

① 雑湯用の温度調節の仕方(W型・S型のみ)

本体の左側面に温度調節ダイヤルがありますので右回しは低温(水温)、左回しは高温になります。



[9] 故障表示とその処置方法

① 故障表示とその処置方法

ハイエレコン-80B II (マイコン部) は故障表示に対応した記号が点滅表示され同時にアラーム音を発し故障箇所と原因を知らせます。



このとき **運転** は点灯していますがヒーターへの通電はOFFになっています。 **運転** を2秒間押してOFFにして下さい。アラーム音は停止します。

表示は、左2桁に表示されます。

【例】



と表示されます。

記号	内 容	処 置
E 0	低水位異常	水が入っていません。水を入れて下さい。純水を使用していますと水位センサーが働かませんので使用する前にご相談下さい。
E 1	沸騰センサー断線	センサーの取替えが必要です。
E 2	温度調節センサー断線	センサーの取替えが必要です。
E 3	温度ヒューズ断	温度ヒューズの取替えが必要です。
E 4	連続異常沸騰 (沸騰センサーの異常) FU (沸騰) 設定の時 沸騰が止らない。	 を押してOFFにして下さい。 ふたから蒸気が出た形跡がありますか、なければ再度  を押してONにして下さい。再度E 4表示が出ましたら点検が必要です。 この故障はプログラムされている温度設定をFUから95℃に変更していただくと再度ONにしてご使用になれます。
E 5	温度調節センサー異常	オーバーフローしていませんか？ していなければ点検が必要です。
E 6	高水位異常	ボールタップにごみがかんでオーバーフローしていませんか？ ボールタップを掃除して下さい。
E 7	沸き上げ不能	ヒーター断線、リレーの不良ですので交換が必要です。

エラー発生時は表示とともにアラームが発生し、運転を停止します。

故障の原因を除去しない限り運転は出来ません。

② 故障表示以外のこんな症状の時は、下記を参考にして下さい。

症 状	原 因	処 置 方 法
お湯が沸かない お湯にならない	電源が接続されていない 使用直後の為 運転スイッチをONにしていない	電源を入れて下さい。 しばらく使用しないで下さい 運転スイッチをONして下さい
お湯の出が悪い お湯も水もでない	給水量の不足 給水されていない 水位が低い 給湯カランは吊り駒式のものをご 使用ですか	給水量を調べて下さい 給水されているか調べて下さい 水位を確認してボールタップの調整が必要 です 落差しか圧力がありませんので水道用のカ ランを使用しますと駒が上に上がらず水が 出ないことがあります。
湯沸し器本体および配 管より振動音がする	給水管の配管は壁等に固定されて いない	給水管の配管は壁等にしっかりと固定して 下さい。
水もれしている	どの部分からの水洩れか分かりま すか	給水給湯の接続部より洩れている場合は締 めなおして下さい 本体から洩れている場合にはその旨お知ら せ下さい
予約時間に沸き上がら ない	1 Stepと2 Stepの間を十分空けて いない場合は沸き上がらないこと があります	1 Stepと2 Stepの間を十分にとれない場合 は1 Stepと2 Stepを一緒にして1 Stepで入 力して下さい
エラー表示されている のに沸騰がとまらない	リレーの故障	電源プラグをコンセントより抜いて下さい 電源ブレーカーを切して下さい

[10] 日常の手入れ

(1) 点検、手入れの際のご注意

お手入れは、火傷などしないように器具が十分に冷えてから行って下さい。

(2) 点検

電圧の測定：銘板の電圧の±10%の範囲で使用されていることを確認して下さい。

電流値の測定：定格電流値の±10%の範囲で使用されていることを確認して下さい。

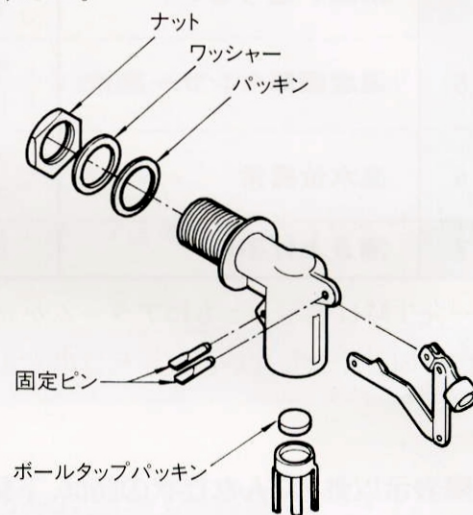
ヒーター絶縁の測定：500Vメガーにて測定、1メガオーム以上あることを確認して下さい。

電源コードの点検：損傷していたり熱をもっていたりしているか？していないことを確認して下さい。接続部のがた付き、緩みがないかを確認して下さい。

(3) ボールタップパッキンの取替え方法

器具がじゅうぶんさめてから行って下さい。

図を参照して下さい。



[11] 長期間使用しない場合

長期間ご使用にならない場合は、電源コードを抜いて下さい。この場合、休み明けには電源コードを接続して下さい。尚、2週間以上過ぎている場合には時計合せが必要になることもありますのでまず時計を確認して下さい。タンク内の水も入替えるようにして下さい。

夏休み、臨時休日、祭日で使用しない場合は、休日停止機能がありますのでこちらを御利用下さると休日明けでもお湯が沸いていますのでとても便利です。休日停止をした場合は必ず **運転** をONにしてください。

※ FULL AUTO型の場合、24時間以上の休止時間がある時、次の沸き上がり時刻の前に排水し、給水をして、タンク内の水を自動的に入替えます。

[12] アフターサービスのお申し込み

・サービス(修理)のお申し込みを依頼される前に「故障表示とその処置方法」の項でもう一度確認の上、販売店または弊社サービス課に連絡して下さい。

・アフターサービス(点検・修理)をお申付けになるときは次のことをお知らせ下さい。

品名：電気湯沸器

形式：銘板表示のもの 例. HDEN-12

電圧は何V(ボルト)か？ 相は単相か三相か？ ヒーター容量は何kW(キロワット)か？

エラー表示を確認の上、故障内容、異常の状況をできるだけ詳しく住所・電話番号・担当者名

• 保証について

取扱説明書にしたがった正常な使用状態で故障した場合は、無料で1年間修理致します。

• 連絡先

販売店または弊社。所在地及び電話番号は裏表紙に記載してあります。

[13] 仕様一覧表

① 本体仕様

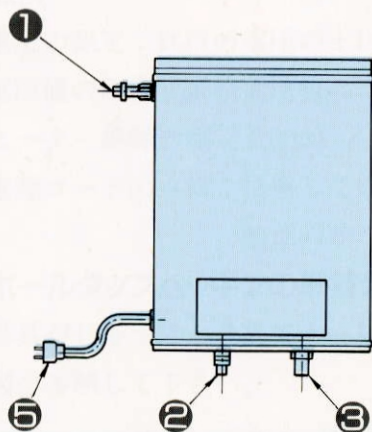
本体材質 内胴	ステンレス製 SUS-316
本体材質 外胴	ステンレス製 SUS-430
保温材	グラスウール
ボールタップ(弁)	青銅鑄物
ボールタップ(玉)	ステンレス製
ヒーター	ステンレス製シーズヒーター SUS-316L
給湯管	ステンレス製
オーバーフロー管	ステンレス製
制御部	マイコン式

② ハイエレコン-80B II (マイコン)仕様

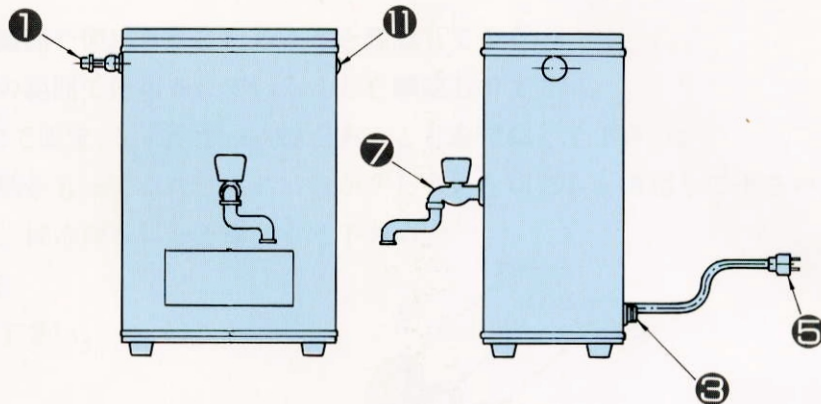
温度設定範囲	30～95℃、95以上FU (FUは沸騰を表わします。)
ディファレンシャル	3℃
空だき防止	導電性水位検出
過昇防止	温度検出
電源電圧	AC100V、200V
変動許容幅	80%～110%
周囲温度	-10℃～+60℃
センサー	サーミスター
バーンアウト動作	センサー断線時
時計	24時間表示
停電保証	14日間(充電式)
耐ノイズ	パルス電圧2000V、電源間、電源アース間にて異常動作が無い事
落雷対策	標準装備

[14] 各部名称及び構造

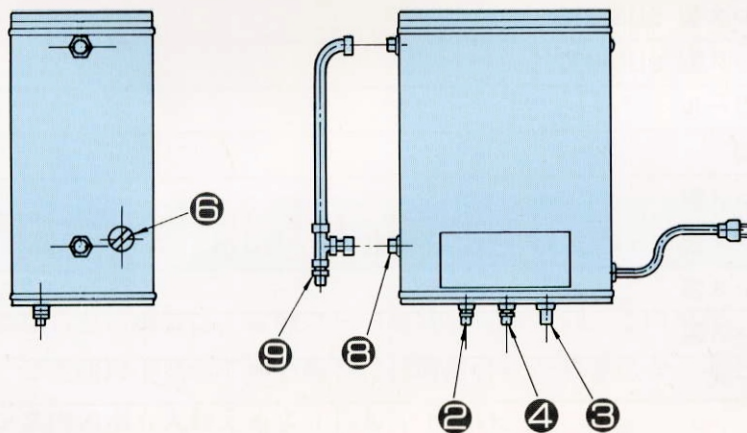
(図1) HDEN型



DEN型

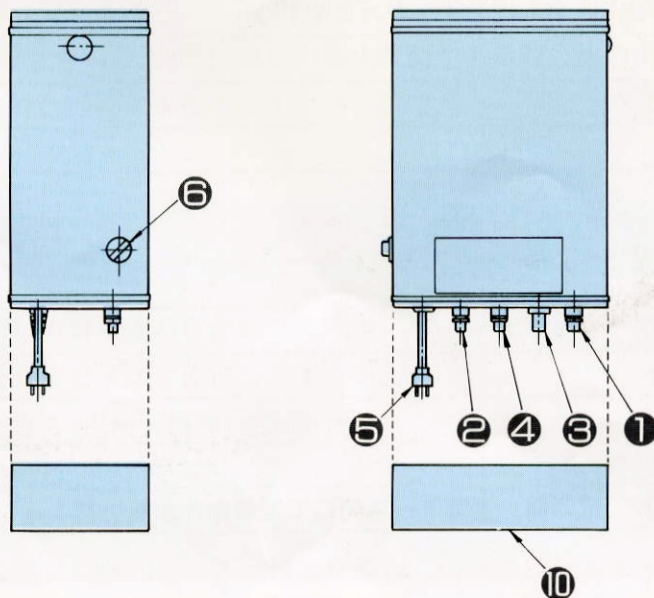


(図2) HDEN-W型



※ HDEN型は
DEN型は
給水口左右入替①—⑩
が簡単に出来ます。

(図3) HDEN-S型



1	給水口
2	給湯口
3	オーバーフロー管口
4	混合湯給湯口
5	電源コード
6	混合湯温度調節ダイヤル
7	給湯カラン
8	混合湯給水口
9	給水連結管
10	下カバー
11	給水口キャップ止

[15] 結線図

